

2025年5月のてがたんは雨のため、中止となりました。下見の観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。

次回のとがたんは6月14日(土)で、テーマは「鳥のヒナまつり」です。ぜひご参加ください。市民スタッフの皆さま、次回の下見は6月8日(日)です。

5月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→水生植物園→旧市民農園
- 観察日時／天気：2025年5月4日(日) 10:00～12:00 / 晴れ
- 市民スタッフ：7名(北村章子、伊東茂子、湯瀬一栄、小泉伸夫、伴野茂樹、弘實さと子、古澤紀元)
- 鳥博職員：1名(村松和行)

— 観察した生き物の記録 —

【鳥類】カモ科：カルガモ、コガモ／キジ科：キジ／ハト科：キジバト／クイナ科：オオバン／カイツブリ科：カイツブリ／シギ科：タシギ／ウ科：カワウ／カラス科：ハシブトガラス、ハシボソガラス／シジュウカラ科：シジュウカラ／ヒヨドリ科：ヒヨドリ／ツバメ科：ツバメ／ウグイス科：ウグイス(声)／セッカ科：セッカ／メジロ科：メジロ／ムクドリ科：ムクドリ、コムクドリ／スズメ科：スズメ／セキレイ科：ハクセキレイ／アトリ科：カワラヒワ／ホオジロ科：ホオジロ(声)／家禽や外来種：コブハクチョウ(カモ科)、ドバト(ハト科)

【両生類】ヌマガエル、ヒガシニホンアマガエル

【昆虫】バッタ目：マダラスズ、キンヒバリ／チョウ目：ナミアゲハ、クロアゲハ、アオスジアゲハ、モンシロチョウ、モンキチョウ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、ベニシジミ、ツバメシジミ、コムスジ／ハチ目：クマバチ、セイヨウミツバチ／コウチュウ目：コガタリハムシ、コアオハナムグリ、モモボトカミキリモドキ、カバノキハムシ／カメムシ目：ヨコヅナサシガメ／カマキリ目：ハラビロカマキリ(卵のう)／ハエ目：ムシヒキアブの仲間、ヒラタアブの仲間

【クモ】ハシリグモの仲間、オニグモの仲間、カニグモの仲間、アシナガグモの仲間

【草の花】アヤメ科：オオニワゼキショウ、ニワゼキショウ／キク科：ヒメジョオン、ハルジオン、ノゲシ、ブタナ、オオジシバリ、オニタビラコ、ハハコグサ、ノボロギク、オニノゲシ、キツネアザミ／イネ科：コバンソウ、ノゲイヌムギ、シバ／オオバコ科：ヘラオオバコ、ツボミオオバコ／サギゴケ科：ムラサキサギゴケ／アブラナ科：イヌガラシ、セイヨウカラシナ、スカシタゴボウ、ナズナ／キンポウゲ科：ケキツネノボタン、タガラシ／ナデシコ科：コハコベ、ノミノツヅリ／カタバミ科：カタバミ、オッタチカタバミ、アカカタバミ／ヒルガオ科：ヒルガオ／マメ科：シロツメクサ、ムラサキツメクサ、コメツブウマゴヤシ、コメツブツメクサ、カラスノエンドウ、ゲンゲ／フウロソウ科：アメリカフウロ／アカバナ科：ユウゲショウ、コマツヨイグサ／タデ科：ギシギシ、エゾノギシギシ、スイバ／バラ科：ヘビイチゴ／ケシ科：ナガミヒナゲシ／イグサ科：スズメノヤリ／シソ科：ホトケノザ、トウバナ／ムラサキ科：キュウリグサ／スイカズラ科：ノヂシャ／アカネ科：ヤエムグラ／セリ科：オヤブジラミ、ヤブジラミ

【木の花】マメ科：ハリエンジュ、フジ／ツツジ科：ツツジ／バラ科：ノイバラ、コデマリ／ヤシ科：シュロ(雄花)／ニシキギ科：マサキ／モクレン科：カラタネオガタマ

【シダ植物】トクサ科：イヌスギナ

2025年5月の観察アルバム



今回のテーマは「もっと知りたいムクドリ」でした。雌雄の違い、羽色の特徴、餌の食べ方などをじっくり観察しました。田んぼでは、一緒に行動するコムクドリの姿も見られました。様々な花が見られ、春らしい観察会下見となりました。



今月の案内人

村松 和行

北村 章子



① たくさん的小穂をつけたコバンソウ



② タンポポに似ているが、茎が分岐して花をつけるフタナ

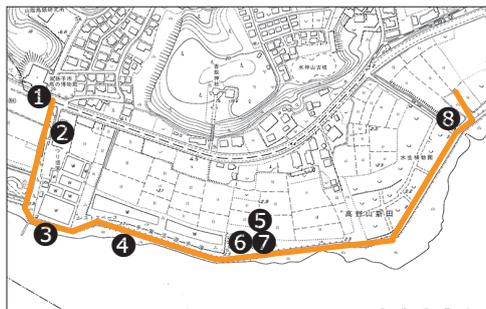


③ あしの付け根の膨らみが特徴的なモモトカミキリモドキ



④ キノコの仲間の隣で見つけたハラビロカマキリの卵のう

歩いたルートと観察した生き物



⑤ 水を張った田んぼで見つけたヌマガエル



⑥ 花は大きく、実が小さいニワゼキショウ



⑦ 花は小さく、実が大きいオオニワゼキショウ



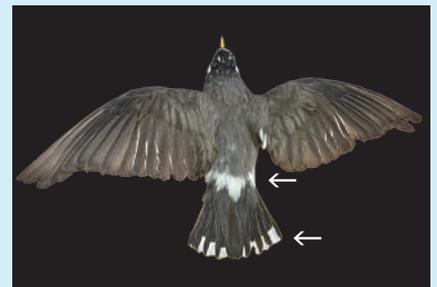
⑧ イヌスギナの先端で見つけたチョウの幼虫

今月の鳥 ムクドリ

ムクドリには「白頭翁（はくとうおう）」という異名があります。その名の通り、顔の白い羽色が由来です。飛ぶと腰や尾羽の先端の白色もよく目立ちます。羽色はオスの方が黒味が強く、メスは全体に褐色味があります。ムクドリの羽色は個体差があり、微妙な違いがあるので、群れで行動する姿を見つけたら、ぜひその違いを観察してみてください。



オス成鳥



腰と尾羽の先端のよく目立つ白色